

第 120 回 ITER 国際核融合エネルギー機構の職員募集説明会での Q&A

1. 日時・場所

平成 31 年 4 月 13 日（土）

type エンジニア転職フェア

東京ドームシティ プリズムホール

2. 来訪者 イベント参加者 1509 名中、ブース来訪者 27 名

3. 説明概要

第 120 回 ITER 国際核融合エネルギー機構の職員募集説明会において、ITER 計画に関するポスター、ITER 模型の展示、パンフレット等の配布を行い、ITER 計画の概要、最新の建設状況、ITER 国内機関として ITER 製作機器の製作状況及び調達活動、ITER 機構職員数の現状、ITER 機構職員公募とインターンシップに関して説明を行った。また、今回は新たに「ITER 職員公募に関する情報提供のための登録制度」の案内に力を入れて、希望者にはその場でパソコンから仮登録を行ってもらう環境を準備した。仮登録を行ってくれた方は 11 名。後日、本登録の案内メールを送付した。

（ITER 連携推進グループ 三上、田中、迎、GE 本社 田丸、中川原）

4. 主な Q&A

Q: ITER 機構とはどんな組織ですか？

A: ITER 機構は、ITER 協定という国際条約により設立され、ITER 計画の主体となる国際機関です。ITER 協定に加盟する日本、欧州連合（EU）、米国、ロシア、中国、韓国、インドの 7 極の国内機関と連携して ITER の建設・運転を進めています。ITER 機構の長は、機構長と呼ばれ、ベルナール・ビゴ氏が就任しています。ITER 機構の職員は、専門職員と支援職員からなり、その総数は 2019 年 3 月末現在で 961 名です。

Q: ITER 機構職員に採用された場合、契約期間は何年ですか？

A: ITER 機構と直接雇用契約を結ぶ場合、契約期間は最大 5 年です。契約期間満了後、評価や実績により、更新される方もいます。また、最初の契約を終えた時点で、異なるグレード・等級のポストに応募することもできます。

Q: ITER 機構職員に採用された場合、どこで働くのですか？

A: 勤務地はフランス南部のサン・ポール・レ・デュランスにある ITER 建設サイト内です。

Q: ITER 機構では何人くらいの日本人が働いていますか？

A: 2019 年 3 月末現在では、総勢 33 名の日本人が ITER 機構で働いています。

Q: 職員のグレード（等級）はどのように決められていますか？

A: ITER 機構職員公募はポジションごとに公募が出され、どのような業務を行うかが明確化されております。その中で公募一つ一つに対して ITER 機構がグレードを決めて公募しています。

Q: 専門職員（Pグレード）と支援職員（Gグレード）の違いは何ですか？

A: Pグレードは経験のある技術者・研究者が求められています。博士号を取得した研究者で、着任してすぐにその道で活動できる即戦力が求められます。Gグレードは秘書、CADオペレーター、技術支援などの支援業務を担当する職務です。

Q: どのような職務経験が求められますか？

A: 職務経験については、募集ポジション毎に Job Description に記載されていますので、それぞれ要求される条件を満足する必要があります。一般的に、募集されているポジションと同じ分野などでの経験が求められます。ご自身の経歴に照らし合わせて、関連するポジション、可能性のありそうなポジションに積極的にご応募ください。

5. 展示会の様子

